

約束された新しい契約

キー・ヴァース「主は言われる、"わたしはその日以後、わたしの律法を彼らの内側に置き、彼らの心に記す。

エレミヤ31:33

選ばれた聖句

エレミヤ31:27-34

エジプトの束縛から解放された後、神はイスラエルがその御声に従い、契約を守るなら、「すべての民の上に立つ特別な宝」「祭司の王国、聖なる国民」となると約束された（出エジプト記19:5,6）。この言葉を聞いて、「民は皆、共に答えて言った。モーセは民の言葉を主に返した」。

契約の遵守を約束したにもかかわらず、イスラエルの民は繰り返し誓いを破った。彼らの不従順の結果、エレミヤはイスラエルとユダの両家に対して、将来確立される新しい契約について語った（エレミヤ31:31）。（エレミヤ31:31）。この契約は最初の契約よりも優れたものであり、神はそれを石板の

代わりに彼らの心に書かれる。使徒パウロは、最初の契約である "律法" の目的は救いを与えることではなく、イエス・キリストへの信仰によって得られる究極的な救いへと人々を導くための一時的な手段であったと説明している。

「では、律法は神の約束に反しているのだろうか？そうではありません！もし、いのちを与える律法が与えられていたなら、義は確かに律法による。しかし、聖書は、イエス・キリストを信じる信仰による約束が信じる者に与えられるように、すべてを罪の下に閉じ込めたのです。信仰が来る前、私たちは律法の下に捕らわれ、来るべき信仰が啓示されるまで監禁されていた。ですから、キリストが来られるまでは、信仰によって義とされるために、律法が私たちの後見人となっていたのです」。ガラテヤ**3:21-24**

エレミヤが預言したこの新しい契約は、不従順による神とイスラエルとの間の疎遠を和解させる仲介者を必要とする。モーセは最初の契約の仲介者であったが、神（ ）はその独り子イエスを、この新しい、より良い契約の仲介者として備えてくださった。

（申命記**18:15-19**；使徒**3:22,23**；1テモテ**2:5**）。新しい契約はまずイスラエルと結ばれるが、やがてキリストの千年王国の間に全人類を含むようになる。

(黙示録22:17; 20:6)。そのためには、新約のいのちの提供を受ける一人ひとりの従順が必要となる。

メシヤ王国のすべての人々を祝福するために、神はキリストの花嫁となる民を召し出される。「あなたがたが救われたのは恵みによるのです。それは、来るべき時代に、キリスト・イエスにある私たちに対する御親切によって表される、その恵みの比類のない豊かさを示すためです。"(エペソ2:5-7)。教会階級の発展は、新約のもとでは仲介者の助けによって行われるのではない。むしろ、使徒ヨハネは、"私たちには、義人イエス・キリストという、父との弁護者（仲介者ではなく、慰め主、助け主）がいます"と教えている。第1ヨハネ2:1

私たちは、新約を通して全人類を天の父（ ）との調和に戻すという希望に忠実でありましょう。黙示録21:1-5